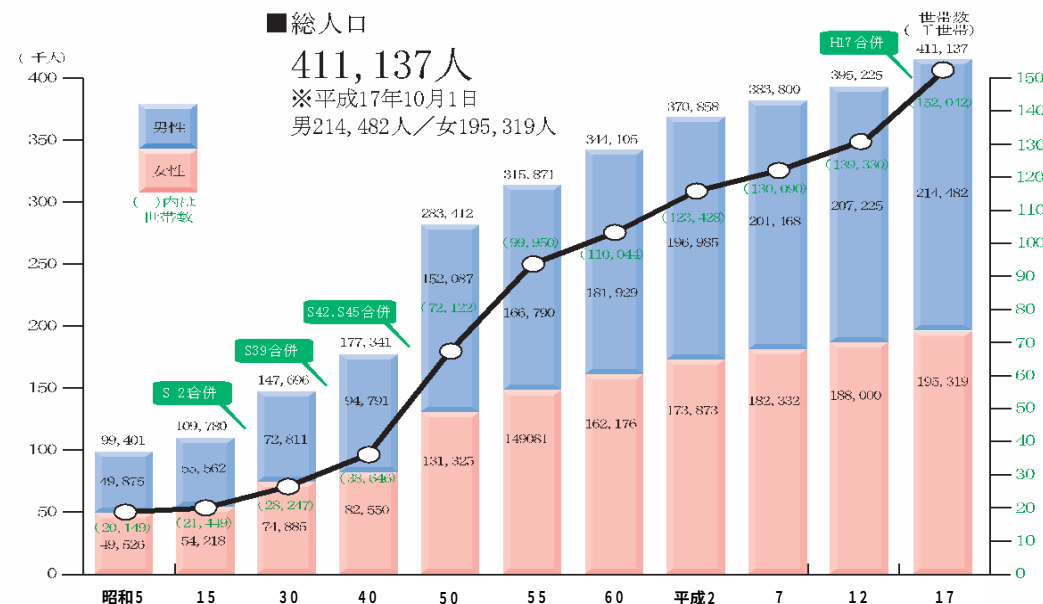


① 豊田市の人口概況（１）

平成18年6月26日（月）
豊田市都心交通ビジョン懇談会
（資料3）

豊田市のあゆみと人口増加



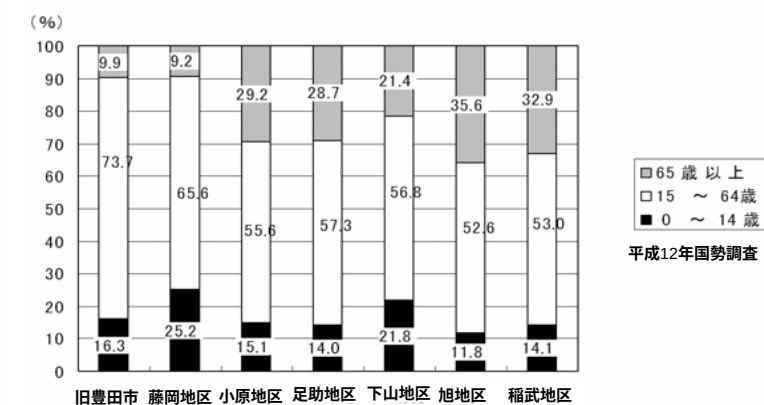
■中心市街地居住者の推移

※中心部地区12町の合計
日之出町、喜多町、月見町、昭和町、西町、若宮町、元城町、久保町、拳母町、竹生町、桜町、神明町

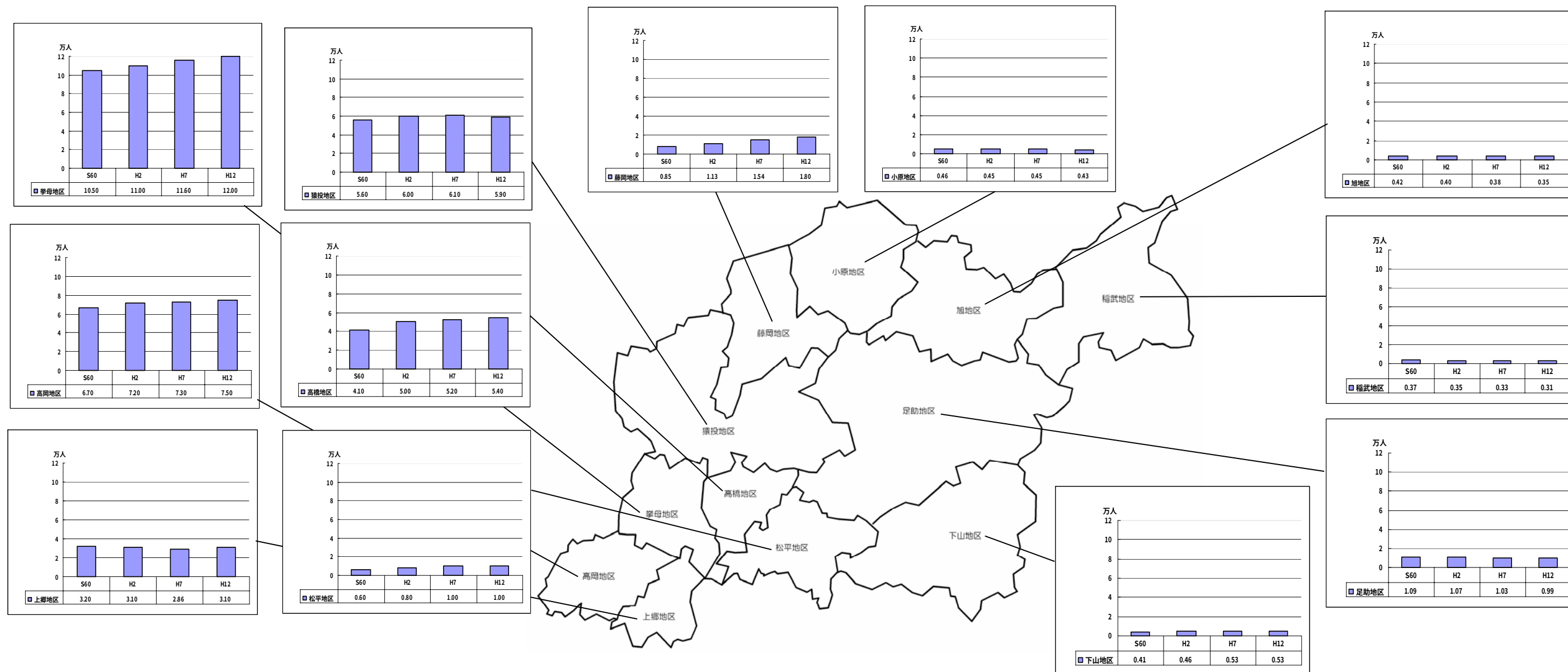


（資料）豊田市統計データより

図一地区別の高齢化割合

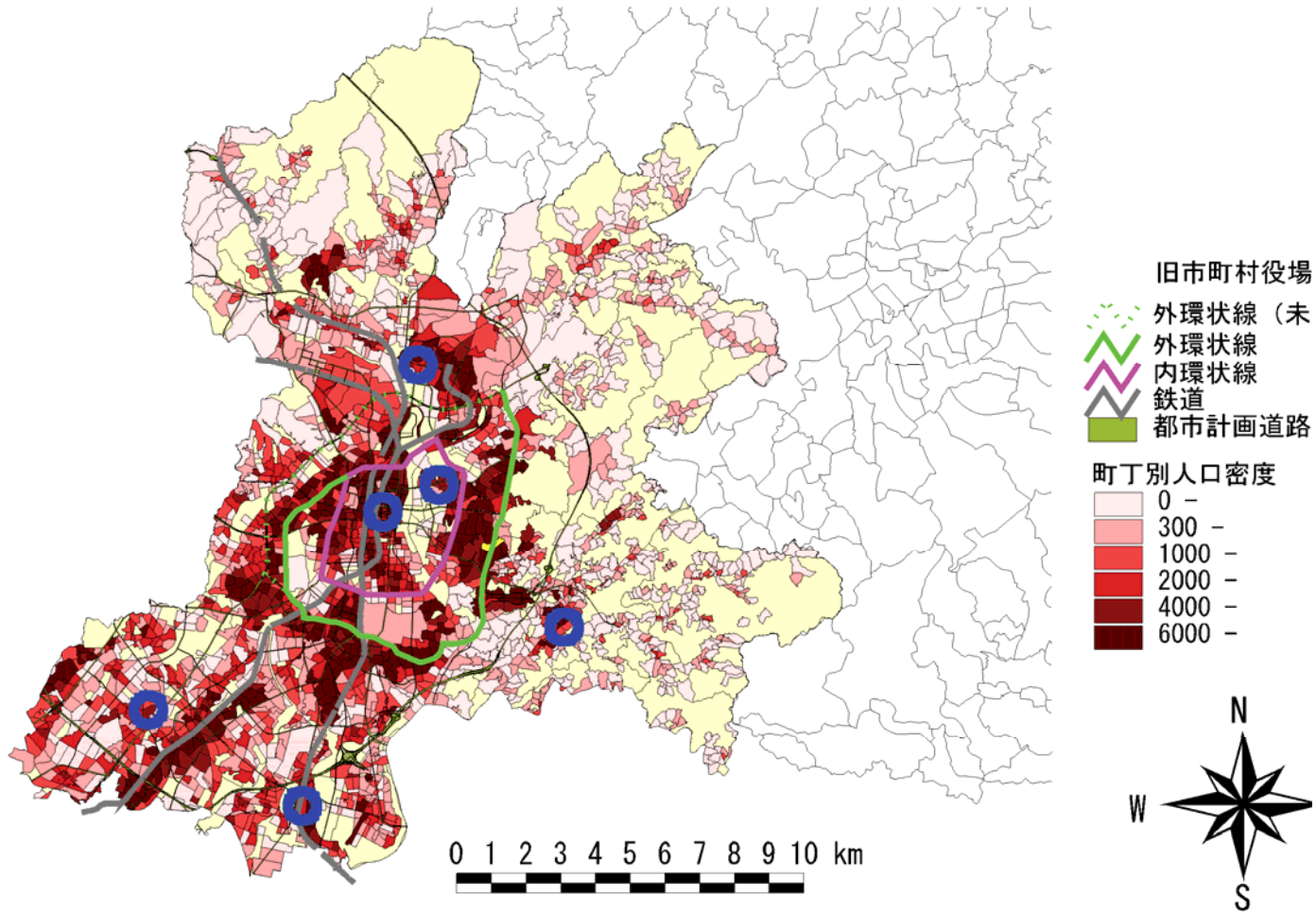


■豊田市地区別人口の推移

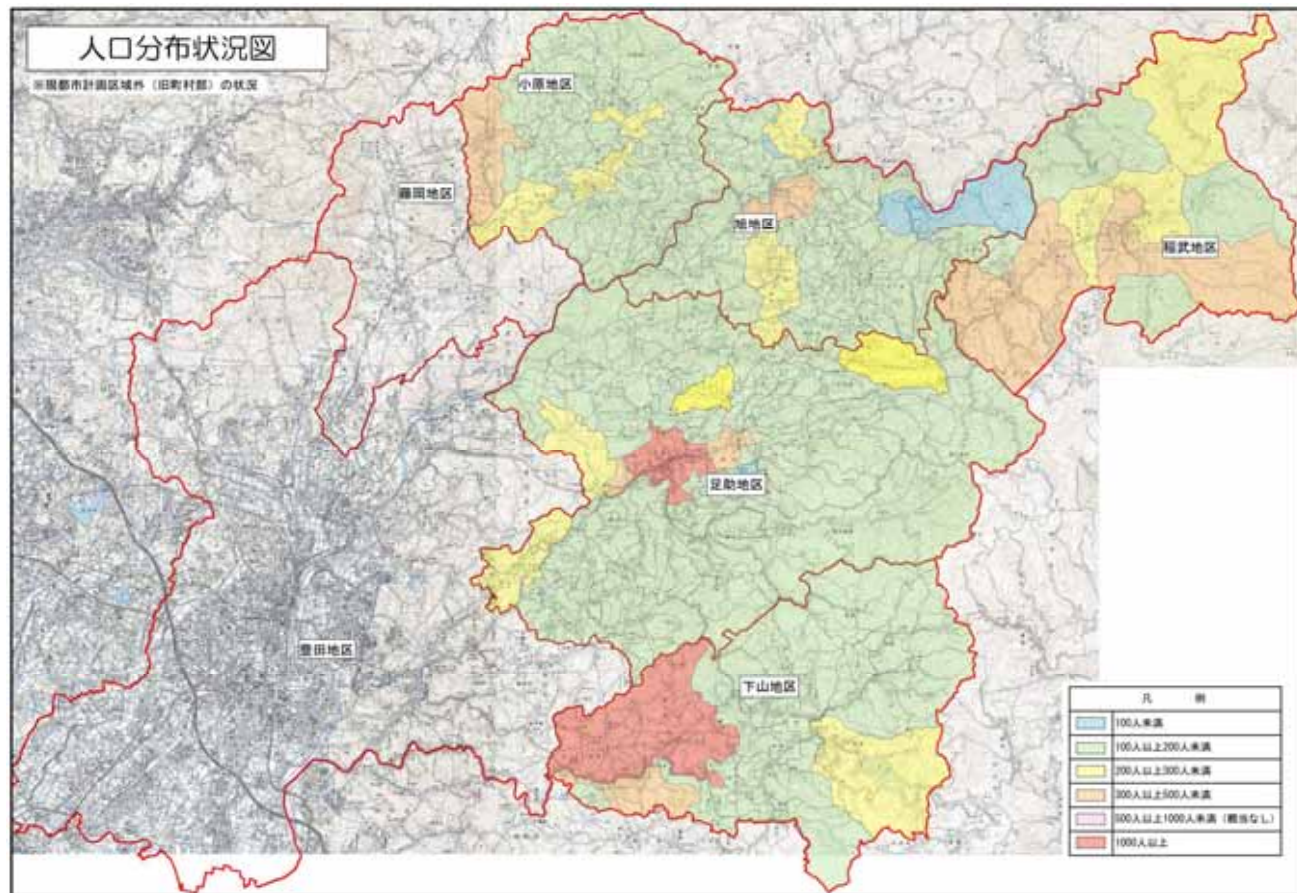
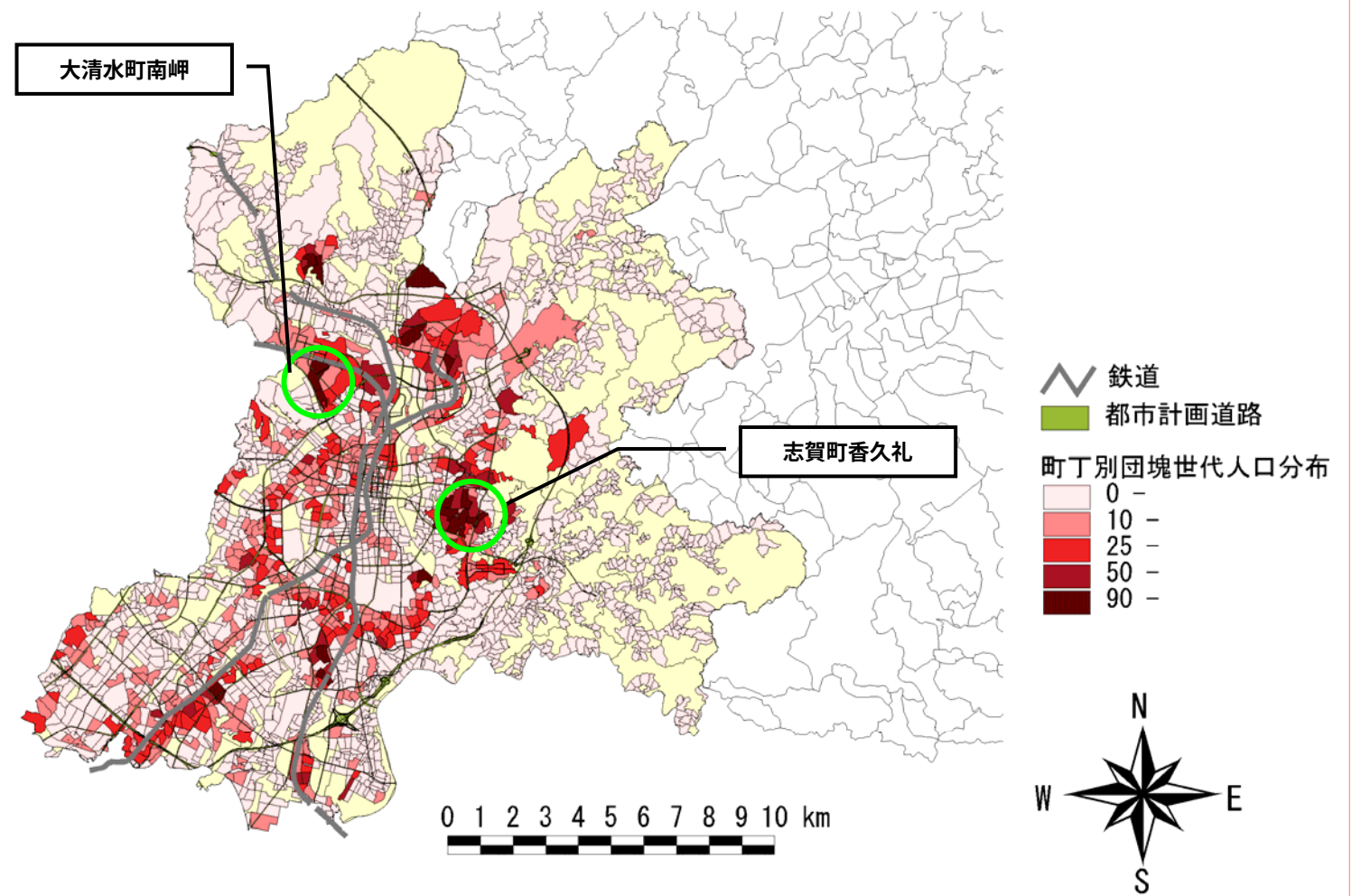


② 豊田市の人口概況（２）

旧豊田市の町丁別人口密度



旧豊田市町丁目別団塊世代人口



	人口	団塊世代人口	団塊世代率(%)
志賀町香久礼	1125	141	12.53
大清水町南岬	1098	122	11.11
豊田市全体	411266	21610	5.25

まとめ

（人口推移）

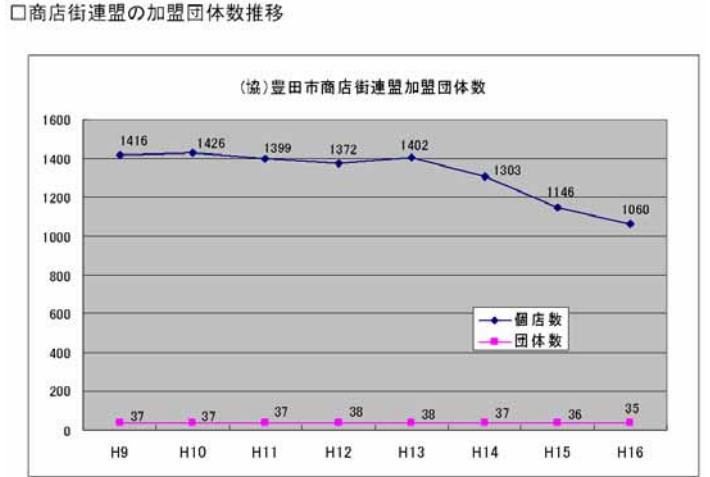
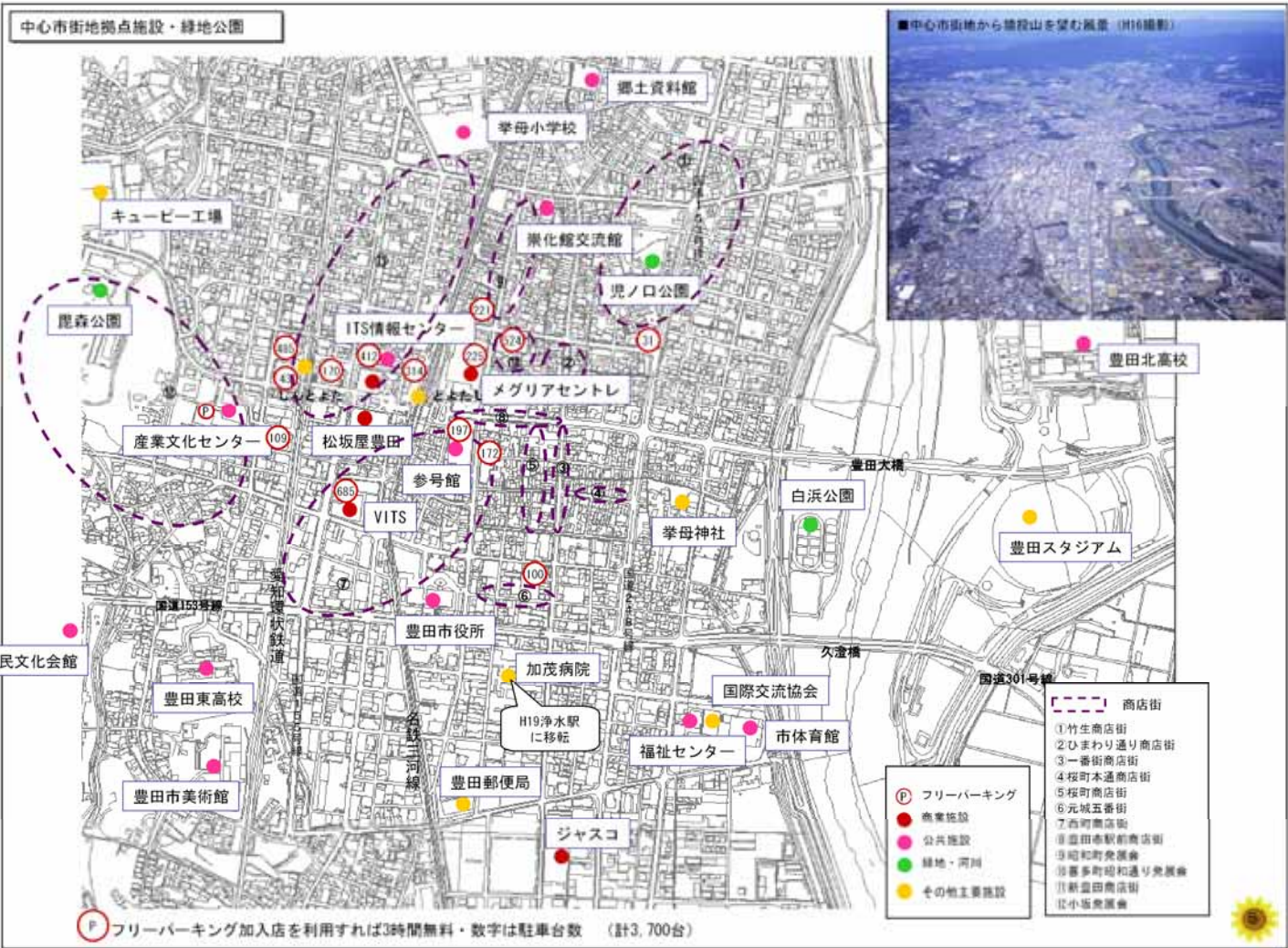
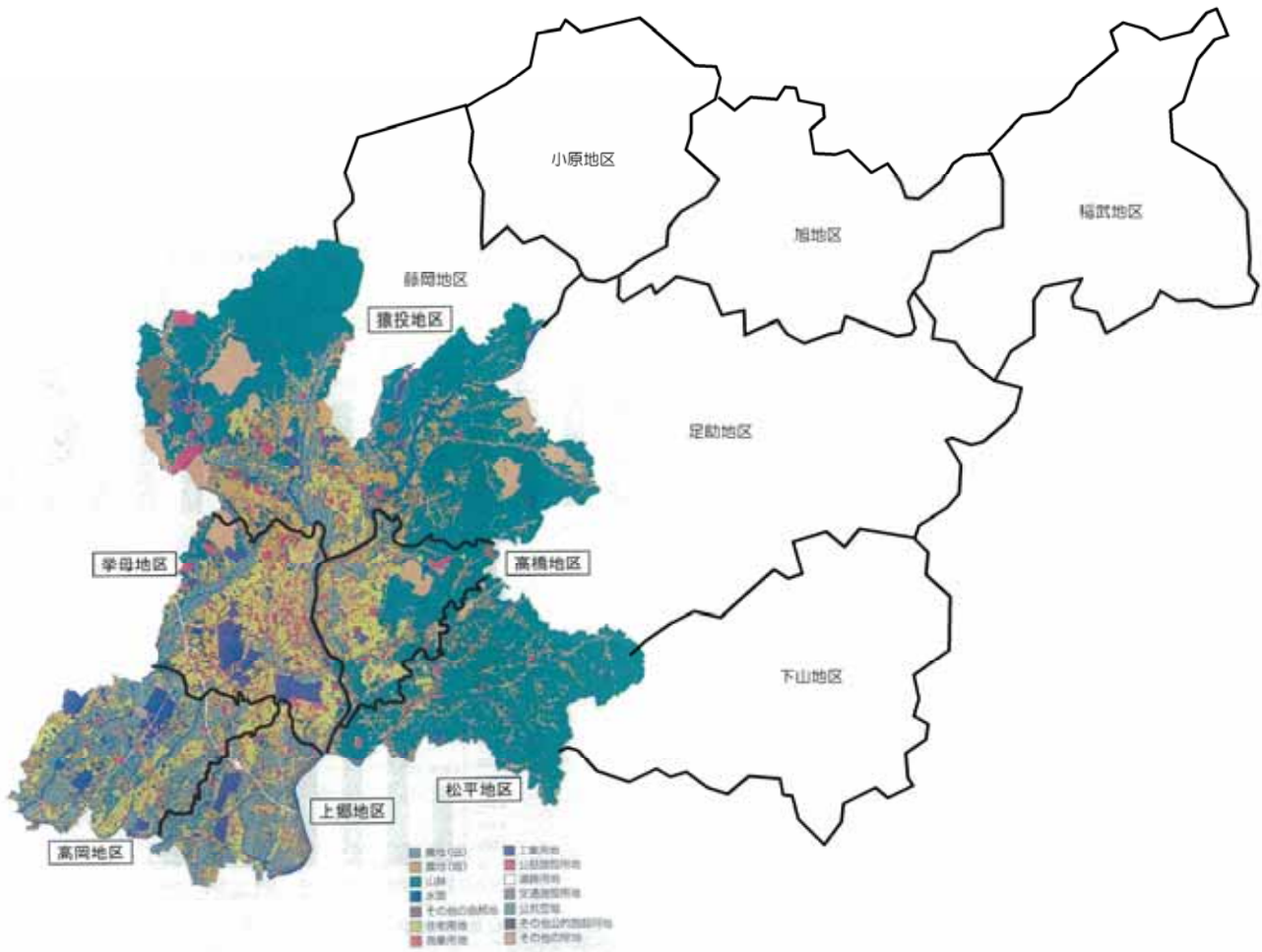
- 町村合併、社会増により41万人
- 中心市街地居住者は増加傾向に転換
- 高齢者割合は旧町村部で高く旧市内では10%以下と全国平均より低い

（居住の状況）

- 合併の繰り返しにより旧町村を中心として分散型の傾向
- 幹線道路沿道に市街地が形成される傾向
- 団塊世代が多数居住する地域があり、まちづくりの担い手として期待

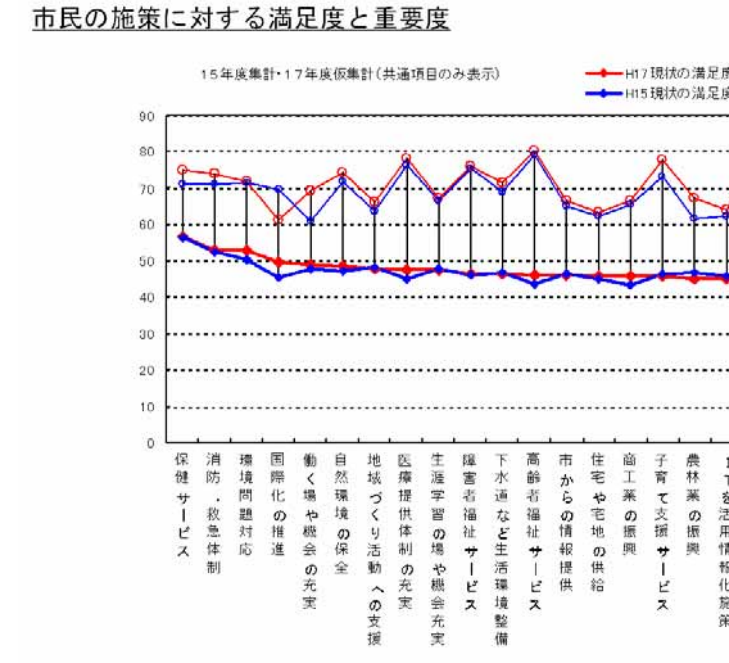
③ 豊田市の土地利用現況

■現況土地利用 (旧豊田市)



豊田市中心部に望む商業機能

	で食料品から一か所	使いやすい駐車場	都会的でおしゃれな商品	向けファミリー	映画ポスターが飾れる	ディスプレイカウント	中高年向けの商品	豊富な食料品	買夜遅くまでできる	販売員豊富な	商品フアッショ
H16順位	14位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位
H15順位	2位	1位	3位	5位	6位	8位	4位	7位	9位	10位	13位
H14順位	-	-	2位	-	-	1位	-	3位	-	-	-
H16%	37.8	37.4	19.7	19.0	14.5	14.2	11.5	8.8	8.1	5.4	3.8



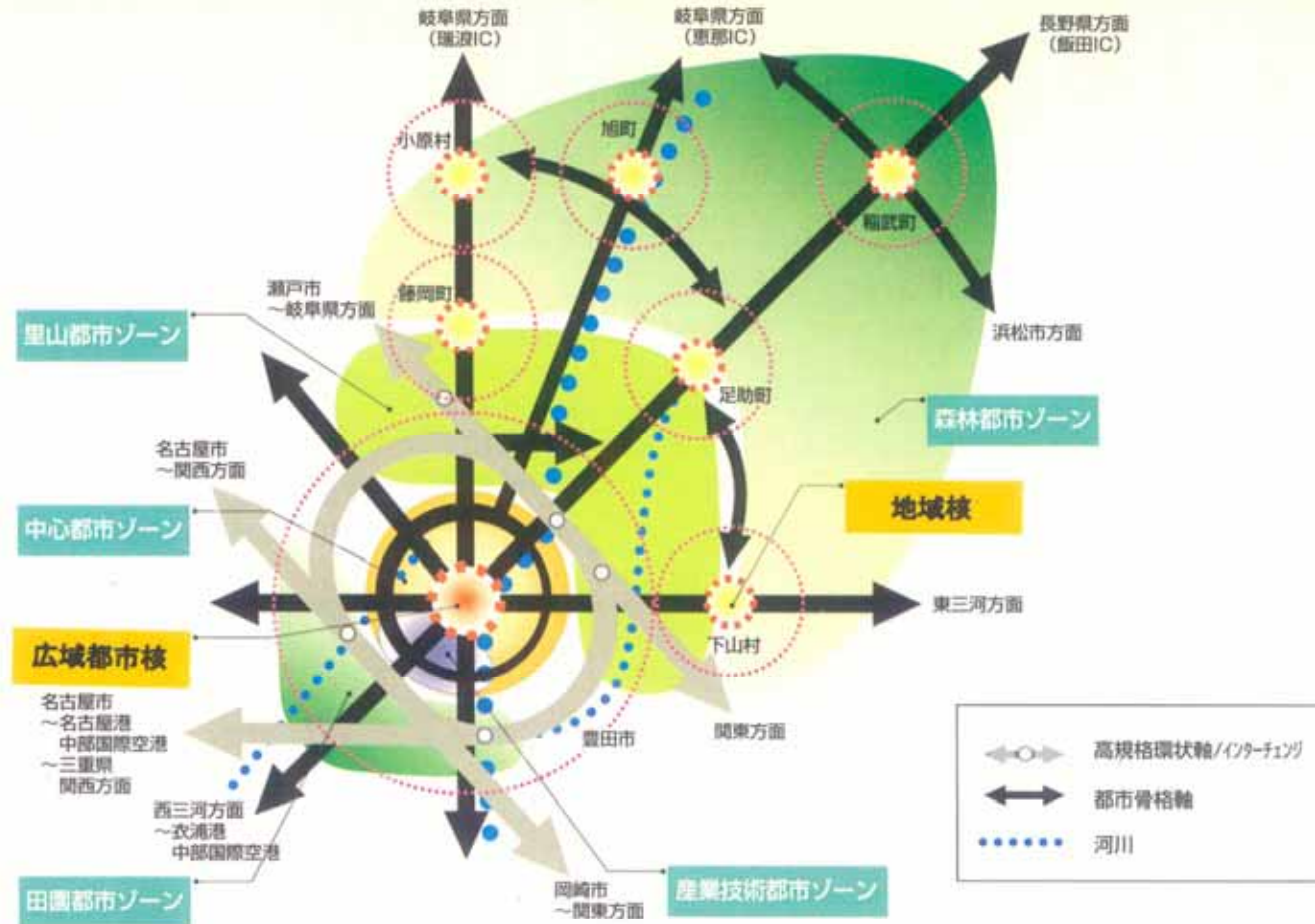
豊田市中心部に望む機能

	ショッピング	飲食	レジャー	バーキング	文化	医療	公園	福祉	情報サービス	タミナル	カルチャ学習	観光	よいのまで	オフィス
H16順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位
H15順位	1位	3位	5位	2位	6位	4位	7位	8位	9位	10位	13位	11位	11位	14位
H14順位	1位	3位	4位	2位	5位	-	-	6位	-	-	-	-	7位	8位
H16%	51.8	29.2	18.9	16.4	12.1	10.1	9.1	7.4	7.1	4.9	4.6	4.2	4.1	1.2

- まとめ
- (現況土地利用)
- 旧豊田市東部、合併市町村部は山林系土地利用中心
 - 豊田市駅、新豊田駅を中心とする地区に都市的な土地利用 (中心市街地拠点施設分布)
 - 駅部を中心に商店街が立地
 - 平面、立体を含めた駐車場が中心市街地に多数立地 (売り場面積の推移)
 - 商店街への加盟団体数 (特に個店)、店舗数、売り場面積ともに減少傾向 (市民の施策に対する満足度と重要度)
 - 「中心市街地の活性化」、「公共交通」に関する項目の満足度と重要度が乖離
 - 飲食、ショッピングに関する機能が望まれている

⑤ 豊田市の将来計画

■新市建設計画における都市構造図



3つの核

①広域都市核

広域の行政管理機能、商業・業務サービス機能、情報通信機能、生涯学習、スポーツ、文化・芸術等の拠点機能など高次都市機能の集積・誘導

②地域核

基礎的な行政・生活サービス提供のための都市機能の整備拡充、地域振興機能、防災・救命救急の中心的機能、都市と農山村の交流・共生のための企画誘導機能の整備

③生活核

小学校区程度の範囲に、最も基礎的な住民自治組織やコミュニティの形成を促進、都市と農山村の交流・共生の実践・誘導、身近な防災、健康増進機能の充実

5つのゾーン

①中心都市ゾーン

都市的生活のための機能的で利便性が高く、かつ環境にやさしい一体的な市街地の形成誘導

②産業技術都市ゾーン

生産機能の機能更新の誘導や、ITS（高度道路交通システム）関連などの自動車派生産業等の新たな産業技術機能の立地誘導

③田園都市ゾーン

農業の生産性の向上と農住環境の整備の促進、インターチェンジ周辺の開発需要等に対応する適切な土地利用の誘導

④里山都市ゾーン

里山地域の環境保全と都市近郊農業の振興、都市と農山村地域住民の交流機会の拡充など新たな地域機能の誘導、里山居住環境の向上

⑤森林都市ゾーン

森林機能の維持と活用、農山村の居住環境整備、生産基盤の整備等による林業振興と都市と農山村の交流促進

4つの拠点

①産業技術拠点

工業団地や大規模工場等、既存生産機能の維持・更新と新たな産業技術機能の立地誘導

②観光・交流拠点

既存の観光・交流資源の活用と連携、再構築による新たな魅力の創出、来訪者と市民との憩いと交流のネットワーク化の促進

③森林機能拠点

林業振興、森林空間の水資源涵養機能と環境保全機能の維持増進、交流施設の整備等による都市住民との交流機会の拡充

④新たな都市機能拠点

インターチェンジ周辺や幹線道路沿道等の自動車交通利便性やビッグプロジェクトを活かした学術研究開発、先端技術系企業、流通業務等の新たな機能の立地誘導

※生活核と4つの拠点については上の図には記載していません。

■都市計画マスタープランにおける将来都市構造図

